

第3回懇話会におけるご意見の概要について

主な論点：●勾当台公園再整備基本構想の素案について

議事	主な意見(要旨)	
(1) 関連事業検討状況報告	<p>○低層部の検討会では配置パターン案について、委員の方から全方向に開かれた空間がいいのではないかという意見があった。よく登場したのが連続性という言葉です。低層部のテナントの配置についての議論が中心であった。(岩間委員)</p>	<p>○公園と低層部の今後の検討の進め方というのはどういう形なのか。(福岡委員) →今後は市民広場等との一体的なしつらえについて具体的にすり合わせを進めていきたい。(事務局)</p> <p>○勾当台通の幅員は広いので、視覚的にはお互い見合う形になるので、お互いの空間がどのように連続していくのかということが将来的には議論できるとよい。(福岡委員)</p>
(2) 検討事項	<p>●勾当台公園の現況</p> <p>○四ツ谷用水は現在、見せられるようなものなのか、現状が知りたい。(渡部座長代理) →現在の公園に整備する際に四谷用水の水の流れをモチーフにした復元水路や親水施設を整備した。当時の状態での四谷用水は公園内には現存していない。復元水路については設備の老朽化や石組部の漏水、サイフォン等のメンテナンス等などあり、少しずつ補修はしているものの、昔よりもきれいに流れなくなっている。(事務局)</p> <p>○なぜヒマラヤシーダを植栽したのか。(渡部座長代理) →戦後、仙台に限らないが、公園などを緑化する際にヒマラヤシーダが流行っていたと考えられる。現在は杜の都の環境をつくる条例による保存樹林として指定されている。(事務局)</p>	<p>○常緑樹が多いのは勾当台公園のコンセプトからか。(渡部座長代理) →公園の緑化の際、ヒマラヤシーダに代わる樹種として常緑樹のタブノキを用いることにした。常緑広葉樹を使って個性を出そうというのが晩年の勾当台公園の整備である。(事務局)</p> <p>○ウォークブル推進都市の中で勾当台公園の位置づけは拠点なのか、流れの一部なのか、終着点なのか。ネットワークを作ることが重要なので、走ったりヨガをしたり、健康面で人を引っ張って来て回遊して、そこから働きに行くなどの使い方を検討してもらいたい。(福岡委員)</p> <p>○現在仙台市で動いている様々な取り組み、社会実験等とのつながり方を公園の方に寄せてまとめるといような人に興味を持ってもらえる公園になるのではないか。(福岡委員)</p>
	<p>●コンセプト</p> <p>○おもてなしの場というより、まずは市民が楽しむ場、市民から愛されて楽しんでいる場という目的の方がよいのではないか。(高山委員)</p> <p>○いこいの広場上段部をインクルーシブ公園みたいな子供が安心して遊べる遊具のあるエリアとし、日常的に足を運ぶような機能があってもよい。(高山委員)</p>	<p>○キーワードとして「使う、利用する、その結果として楽しむ」。お客さんとして使う・楽しむだけでなく、市民が主体として使う・楽しむイメージ。私たちの庭、私たちのための場所だという一言を入れるとよい。(姥浦委員)</p>
	<p>●再整備の方針・目指すべき姿(主に公園運営)</p> <p>○公園運営の部分で、多様な主体が協働するパークマネジメントの導入は、周辺との一体的なマネジメントの実現に関する検討、くらい書いてもらおうとよい。(姥浦委員)</p> <p>○民間活力を導入してどうしたいのかということが書かれていない。これまで以上に利用頻度を増やすことなどが書いてあるとわかりやすい。(岩間委員)</p>	<p>○公園を利用するにあたり様々な規制があるので、緩和する旨の文言を入れ、市民がもっと使いやすい公園を目指して努力するスタンスを見せてほしい。(高山委員)</p> <p>○新しい使い方を受け入れてもらえる最初の入口に勾当台公園があり、大概是可能な場所になるとチャレンジがいっぱい起こる。仙台はそういうまちで、そのシンボルが市役所の前で行われている、ということが書かれてあるとよい。(本江座長)</p>
<p>●空間・施設整備の方針</p> <p>○勾当台通が非常に広いので、一体的と考えたときに、視覚的な一体にとどまってしまう。表小路は新庁舎と市民広場との一体的な整備は考えられる。いこいの広場の北側と歴史の広場との南北の連続性は崖線のことを踏まえて盛り込んでもらいたい。(渡部座長代理)</p> <p>○駐車場が残ることをどこかに書いた方がよい。つなぎ横丁の東側の周辺オフィス等や北側の道路などについて、周辺のビルの建替えを機にした道路、広場空間の再構成、みたいな表現の記載があればよい。(姥浦委員)</p> <p>○定禅寺通から多孔質ににぎわい広場、いこいの広場に入入りできるような重なった性格の場所なので、色分けの仕方での図が整理できるのではないかと。(福岡委員)</p> <p>○歴史の広場の古図広場といこいの広場の下段部との連続性を考えると、下段部の一部も勾当台通の一部であるように思うので、別々の広場がこの2つの通りがクロスしていることで、通りから公園や広場からにじみ出てくる要素を書ければよい。(福岡委員)</p> <p>○いこいの広場の上段・下段部の分け方のデザインについて、古図広場からいこいの広場の下段部まで抜けることが大事なので、地下鉄出入口部を改良して、勾当台通に沿って流れを作る中で芝生広場があると長い軸がとれると思う。合同庁舎前の道路を1車線にできれば、いこいの広場を新庁舎から見たときに、奥行きがある緑を感じ、下には芝生広場が広がっているような立体的な面白い空間ができるのではないかと。(福岡委員)</p>	<p>○色分けしたことで分断して見えるので、テーマの強弱をつけるなど分散させていくような整理がよいのではないかと。情報発信は勾当台公園だけでなく、周辺エリア、定禅寺通、仙台市全体の歴史などを発信することも含めて検討してはどうか。(岩間委員)</p> <p>○公園の中の地下鉄の出入口についても、改修に向けた働きかけを書いた方がよい。県庁まで含めた緑を評価するとか、一体的な景観、利用など大きな視点でくくって色を街区から若干はみ出る大きさで整理、表現してもよい。(渡部座長代理)</p> <p>○つなぎ横丁から県庁方向の景観について、公園の緑が建物の足元をやわらげていることも景観構造として取り上げておいてもらえたらよい。(渡部座長代理)</p> <p>○いこいの広場はイベントができるような芝生広場にするのか、それともイベントは市庁舎の前の広場を代用するのか。(高山委員)</p> <p>○可動式の遊具も自由さがあって面白い。(渡部座長代理)</p> <p>○空間・施設整備の方針図はもっと魅力的なアピールができるようにバージョンアップしてほしい。(本江座長)</p>	